



# 東田川文化記念館だより

【第299号】令和4年9月1日  
 電話 0235-64-2537  
 FAX 0235-64-2396  
 休館日 毎週月曜日  
 発行 公益財団法人藤島文化スポーツ事業団



## 「釣りキチ三平展」

9月3日(土)～11日(日)

会場 ギャラリー／入場無料

藤島下町在住の石黒清一さんの収集した、秋田県出身の矢口高雄さんの人気漫画「釣りキチ三平」のコミック本60巻と「釣りキチ三平 CLASSIC」全57巻、「釣りキチ三平平成版」7巻、「釣りキチ三平平成版総合編」

全3巻等と色紙やカレンダー、懸賞で当選したグッズ等を展示します。土曜と日曜は出展者が常駐します。

### 《寄稿》東田川文化記念館と郷土研究サークルへの想い その2



郷土研究サークル 青山 崇 (山形市在住)

#### 「オープンセレモニーと倉庫の『千鳥破風』」




東田川文化記念館は、1989年(平成元年)着工、1995年(平成7)竣工し、翌1996年7月一部開館した。しかし企画展示など多くの仕事があり、一般に開放したのは9月3日である。郡役所と倉庫は展示室と管理室に、郡会議事堂は、1階は町立図書館、2階はホールで明治ホールと命名、コンサートや講演会などを行う。

1996年6月29日に開館を前にして開催された記念セレモニーは、開館式の後、祝賀ピアノ演奏、常設展示の案内をし、その後の「歌とピアノの記念コンサート」を約140人が聴き入った。

さて、あまり注目されていない倉庫の玄関上にある「千鳥破風」である。1924年(大正13)の建築である。破風とは、屋根の棟面でない側面の屋根の端をいい、雨風を打ち負かし、家を守る物であるという。倉庫の破風は屋根の斜面の真中にある「千鳥破風」で、格式があり、天守閣に多く使われた。電柱と東田川郡を結合した電気事業のシンボルマークは、千鳥破風の真中にあり破風と一体となって、周辺の雰囲気を引き締めている。

令和4年度 大人の大学 貴重な人生 元気で楽しく  
 受講生募集 ～あなたも・わたしも いきいきと～  
 考えて・動いて・笑って」を合言葉に心身ともに健康で、  
 楽しい暮らしができることを目指します。



	9/22(木)	10/19(水)	11/2(木)	11/16(水)
<b>1 時間目</b>	軽体操「 <b>脳も体もすっきり</b> 」 9:00～ 9:50 講師 鈴木勝義インストラクター	ヤクルト健康教室「 <b>おなかの健康</b> 」 庄内ヤクルト社員	【 <b>遠足</b> 】 「 <b>ほとりあ 鶴岡の自然</b> 」	軽体操「 <b>脳も体もすっきり</b> 」 鈴木勝義
<b>2 時間目</b>	講話「 <b>いのち. 生き方</b> 」仮題 10:00～ 10:50 三和;法秀寺 住職 五十嵐俊道氏	軽体操「 <b>脳も体もすっきり</b> 」 鈴木勝義	「 <b>ほとりあ職員</b> 」  大山の菓子店 <b>見学</b>	講話「 <b>気になる資産の回し方</b> 」仮題 鶴岡信用金庫 職員
<b>3 時間目</b>	図画工作 11:00～「 <b>オープン粘土で お手軽陶芸</b> 」 文化記念館職員	図画工作「 <b>紙細工. ペーパークイリング</b> 」 長沼 福井貞子氏		図画工作「 <b>紙細工. ペーパークイリング パート2</b> 」 福井貞子氏 

受講料/1,500円(保険代込み)

申し込み/9月15日(木)までお電話で。

月曜休館日。定員/20名

主催/公財)藤島文化スポーツ事業団 東田川文化記念館

後援/鶴岡市教育委員会

### 【新しい生活様式による当館入館の際のお願い】

- せきが出る時やかぜのような具合の場合は入館をご遠慮下さい。
- マスクをしてきてください。
- 受付で検温してください。37度5分以上の熱がある場合は入館できません。
- 入口で手・指の消毒をして下さい。
- 入館者受付名簿に連絡先をご記入下さい。この名簿は新型コロナが発生した場合の濃厚接触者の連絡以外の用途には使用しません。
- 各展示室の入館人数制限により観覧をお待ち頂く場合があります。

